

加古川流域委員会 第7回 資料
河川整備内容について

平成21年2月18日

国土交通省近畿地方整備局
姫路河川国道事務所

1

－ 目 次 －

1. 河道内樹木について
2. 干潟について
3. 鬪竜灘について
4. 堤防整備について

2

1.河道内樹木について

河道内の樹木（ヤナギ）の役割について

①日本人とヤナギの関わり

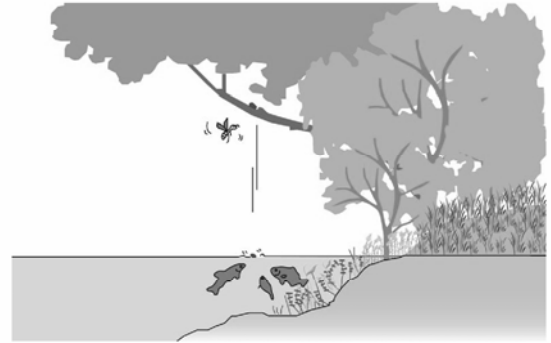
- ・古くから人々の日常生活にとけ込んだ身近な存在
- ・各種の実用品にも利用されてきた

やなぎごうり

薪材、まな板、ようじ、柳行李 等

②生態系における役割

- ・樹木の葉や種子を餌とする昆虫や鳥類の生息場所となる
- ・樹木から昆虫などが落下し、魚の餌となる



魚の採餌場のイメージ

3

1.河道内樹木について

河道内の樹木（ヤナギ）の課題について

- ・河道内樹木が高木化した場合、対岸の堤防を見通せなくなる
- ・河道内の樹木が流木化した場合、河川構造物に引っかかり、流下阻害となる



堤防高を越える高さの樹木
(加古川市河川公園)



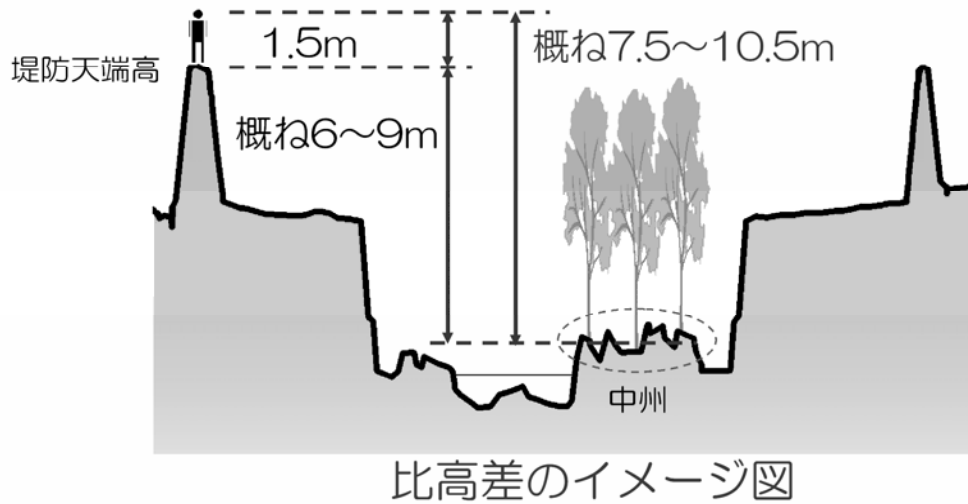
H16.10洪水の流木（加古川橋）
4

1.河道内樹木について

河道内の樹木（ヤナギ）の課題について

○堤防上からの見通し

- ・堤防天端から中州までの高さは概ね6~9mであり、人の目線を想定して1.5mを加えると、概ね7.5~10.5m



1.河道内樹木について

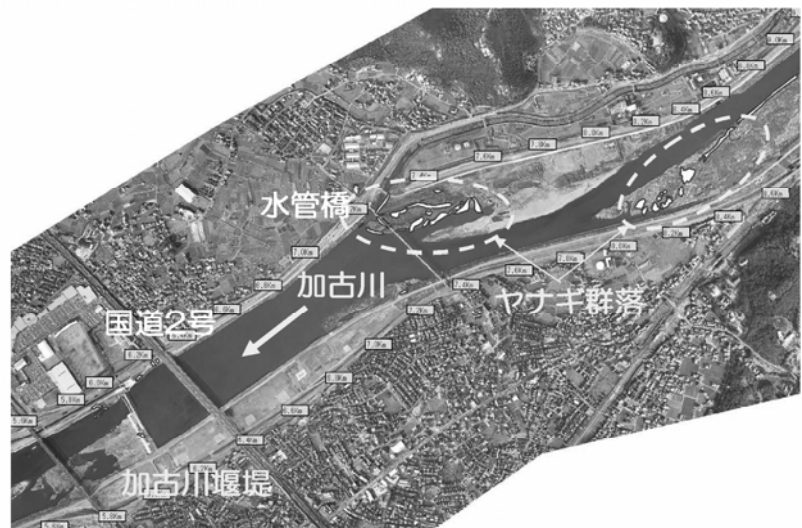
河道内の樹木（ヤナギ）の課題について

○構造物の径間長

- ・加古川で径間長が短い構造物は加古川堰堤の10m



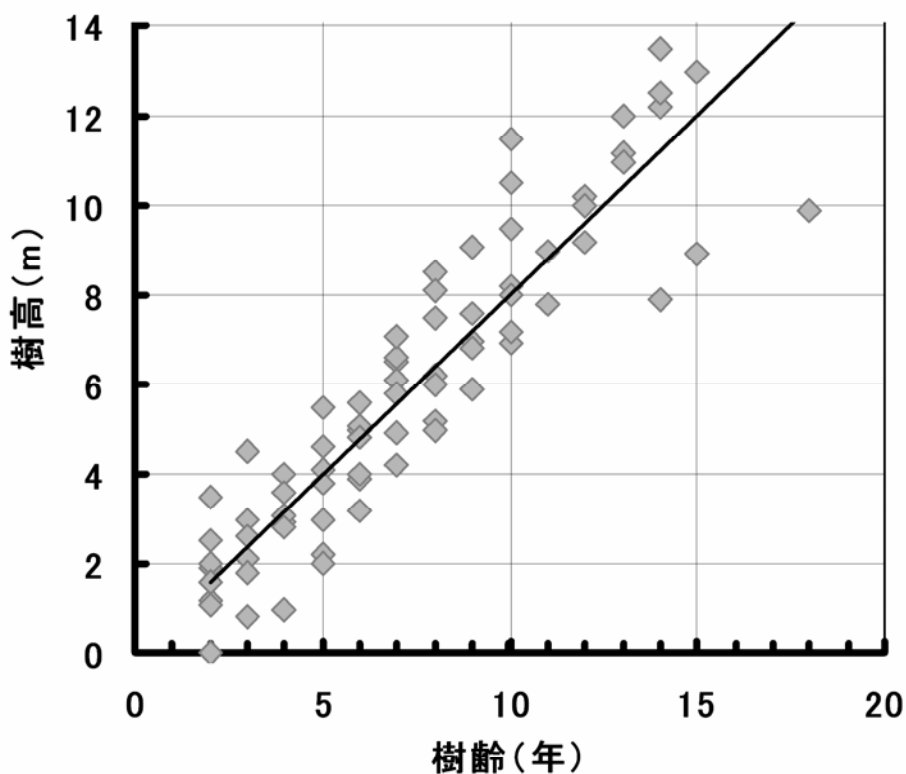
加古川堰堤の径間長



加古川堰堤周辺平面図

1.河道内樹木について

ヤナギの生長速度



1.河道内樹木について

輪伐エリアについて

- ・ 輪伐サイクル：12年
- ・ 管理樹木面積：約323,000m²
輪伐面積：約27,000m²/年
- ・ 生物への影響に配慮した、分散したブロックでの輪伐を実施

